

博 章



川村ひろあき県議会レポート

発行／自由民主党千葉県議会議員会

〒260-0855 千葉市中央区市場町2番13号 電話 043 (227) 7411

6月県議会一般質問

魅力あふれる千葉市・千葉県づくりには全力を注ぐ川村博章県議（千葉市花見川区選出）は、6月県議会に登壇し、大阪・関西万博、駐車許可問題、総武線の利便性向上や交番の建設についてなど、多項目にわたって県民・市民の立場から県執行部の考え方をたえました。その概要をお伝えします。

川村議員 4月13日に開幕した大阪・関西万博は、次代を担う子どもたちが「ミライ」を感じ取るまたとない機会であり、5月31日までの来場者数は5,803,520人と、大盛況を博している。

私も、会場ボランティアとして万博を訪れ、実際に会場を見てきたが、児童・生徒が多く訪れていて、万



6月県議会一般質問に登壇した川村議員

千葉県にも万博等のイベント誘致を

博が貴重な体験の場となつていると感じた。

また、関西パビリオンなど大阪・関西地方の歴史や文化、観光などが発信されており、世界中の方々に広く、大阪・関西の魅力を伝えるイベントになっているということも感じた。

そこで伺う。現在開催されている大阪・関西万博に
対する県の受け止めはど
うか。

総合企画部長 世界中の多様な文化や価値観に触れることができる万博は、次代を担う子どもたちにとって、国際理解を深め、日本の魅力を再発見すると同時に、夢や希望を育む貴重な

必要性が高まる中、令和6年6月に「規制改革実施計画」が閣議決定されたことに基づき、国において、駐車許可及び駐車規制からの除外措置の申請に係る簡素合理化に向けた見直しが行なわれたものとなります。

主な見直し内容は、オンライン化を見据えた申請書の統一、許可の有効期間の延長、複数の警察署の管轄にまたがる申請の1警察署での受理など、申請者の負担軽減が図られるものであり、県警としても、見直し内容について、申請者に対する警察署窓口での教示や県警

経験ができる場であると考
えています。

また、連日、国内外から10万人を超える方々が来場する注目度が高いイベントであることから、地域の魅力を発信する絶好の機会です。

現在、「発酵」をテーマとした8月の千葉県ブース出展に向け、市町村や企業と連携して準備を進めているところであり、本県が誇る発酵の魅力を世界中の方に広く発信できるように取り組んでいます。

要望 様々な好影響が見込めるので、是非、千葉県でも万博のような大きなイベントの誘致を進めていただくよう要望する。

のウェブサイトに掲載するほか、関係団体を通じて周知を図っていくこととしております。

要望
高齢化が進むなか
で、社会的に重要な
業務を担う医療や福祉の訪
問事業者の駐車需要に対し

ては、引き続き申請者の負担軽減に配慮した対応に努めていただきたいと思う。

また、駐車許可制度について事業者等が深く理解し、この制度が広く普及するように、関係団体等とも引き続き連携し、広報を推進していただくよう要望する。

回ッテファーム本拠地移転で地域振興

川村議員 千
葉ロッテマリーン
ズのファームは、
ロッテ浦和球場を
ホームスタジアム
として使用してき
たが、施設の老朽
化が進み、本年3
月に君津市が移転
先の候補として決
定された。

そこで伺う。君
津市に誘致が決
定したファーム本
拠地が、地域振
興にどのような効
果が期待できるか

総合企画部長
プロ野球チームの
ファーム球場は、
選手とファンとの
距離が近く、誰も
が野球を身近に感
じられる場所とし
て、近年多くの観
戦者が来場する施

きています。

君津市へのファームの移転では、球場だけでなく、地域住民が交流できる複合施設の整備にも取り組むこととされており、スポーツを通じた地域づくりの新たな交流拠点となることが期待されています。

また、マリンスタジアムとファーム球場の相乗効果により、新たなファンや、スポーツツーリズムによる交流人口が増えることで、君津地域はもとより、県南部への波及効果も期待できると考えています。

要望
千葉市から発表の

あつた千葉マリンスタジアムの移転・建替えについても、地域の拠点施設として、人の流れや経済効果など、幕張新都心全体にとってプラスとなるように進めていた。だとともに、幕張メッセへの影響はもとより、幕張新都心周辺や地域全体の交通・渋滞対策など、様々な課題をクリアでできるよう、千葉市としっかりと協議していただくよう要望する。

川村議員 近年の幕張メッセの利用状況はどうか。

商工労働部長 幕張メツ

セは、平成元年の開設以来、延べ1億9千万人の方々にご利用いただき、本県における産業振興や文化の発展、国際化の推進に向けた中核施設として大きな役割を果たしてきたところです。

このうち、国際展示場の近年の利用状況については、令和元年度に過去最大の2,636ホールを記録した後、一旦新型コロナウイルス感染症の影響で大きく減少しましたが、昨年度は工事のために一部貸止めたにもかかわらず、2,371ホールの貸出しがあったところです。現在、利用状況は、回復傾向にあるものと認識しており、今年度は、昨年度より更に多い約2,500ホールの貸出しを見込んでいます。

今後とも、成田・羽田の両空港からのアクセス性の良さや平面構造で使いやすい施設であること等の幕張メッセの優位性を活かし、更なる利用促進を図ってまいります。

総武線快速列車 幕張駅停車を要望

川村議員 私の地元の花見川区にはJR総武線の駅が3駅あるが、なかでも幕張駅については、令和5年8月に北口に駅前ロータリーが新設され、バスやタクシーの乗り入れが可能となった。

ほか、駅周辺では区画整理事業が進められており、更に賑わいが期待される地域となっている。

こうした状況から、幕張駅については、今後、更に利用者が増加していくと

思われるが、現在は各駅停車の列車のみが停車している。

もし、快速列車も停車することになれば、利便性が向上し、地域の更なる活性化も期待される。



自席から要望する川村議員

幕張駅前交番の進捗状況

川村議員 千葉西警察署管内の幕張駅前交番については、本年2月議会の予算委員会でも「千葉市等と調整を図り設計業務を進めている」旨のご答弁をいただいております。本年7月上旬の契約締結を行い、工期は令和8年2月中旬となる予定です。

そこで伺う。幕張駅前交番の進捗状況や、意匠の結果についてはどうか。

警察本部長 幕張駅前交番の工事の進捗については、6月下旬に落札業者が決定すれば、7月上旬の契約締結を行い、工期は令和8年2月中旬となる予定です。

意匠については、周辺の環境や景観に配慮するよう、千葉市と「千葉市公共施設デザインガイドライン」に基づいた協議を経て設計しています。内容については、地元の協議会などからの要望を受け、交番が建設される幕張駅前ロータリーのカーブに合わせ、交番外壁に曲面を採用するほか、「POL

埼玉県では、上野・東京ライオンを川口駅に停車できるようにするため、川口市とJRとの間で、ホーム整備の費用負担などに関する協定を締結したとの発表もあった。

こうした事例から、県としても、快速列車を幕張駅に停車してもらえようように取り組みを進めていくべきと考える。

そこで伺う。総武線快速列車の幕張駅停車を実現するため、県はどのような取り組みを行っているのか。

総合企画部長 JR幕張駅への快速列車の停車について、県では、地元である千葉市の要望を踏まえ、市町村等と構成する千葉県JR線複線化等促進期成同盟を通じ、JRに対し、要望してきたところです。

JR千葉支社からは、他の快速列車停車駅に比べ、幕張駅の利用者数が少ないことに加え、幕張駅へ快速列車を停車させた場合、速

達性が低下することなどから、現状では実現が難しい状況にあると聞いております。

県としては、こうした課題を踏まえ、まずは幕張駅の利用者数の状況を注視するとともに、引き続き、地元市等とも連携を図りながら、JRに対して要望してまいります。

幕張駅周辺は、まだまだ開発の途中であり、ポテンシャルに満ちあふれた地域となっている。今後、利用者の増加も見込まれるので、是非、総武線快速列車を幕張駅に停車していただけるよう、引き続き、JRに対し、しっかりと働きかけていただこうと要望する。

また、以前から申し上げているとおり、東京メトロ東西線の千葉駅延伸についても、総武線沿線の方々にとって、さらに利便性が高まることになるので、JRに対し、要望していただくようお願いする。

IC E」の表記を行うこととしております。

さらに、千葉市が計画しているロータリー内のモニメントと基調が合うように、交番の色調を落着きのあたる灰色とする予定となっております。

現在整備中のJR幕張駅北口駅前には、新たな花見川区の玄関口となる。そこに位置する幕張駅前交番は、治安維持の要

要 幕張駅北口駅前には、新たな花見川区の玄関口となる。そこに位置する幕張駅前交番は、治安維持の要

感染症対策の強化を

川村議員 県がモニタリングしている情報によると、最近の感染状況としては、麻疹や、百日咳、水痘など一部の感染症が例年より多く報告されており、この年末年始の季節性インフルエンザの流行も記憶に新しい。

また、新型コロナウイルスについては、令和5年5月に感染症法上の位置付けが「5類」に変更され、行政が主体的に関与をしていく仕組みから、県民の自主的な取り組みをベースとした対応になったが、専門家からは、感染症等のウイルスの性質は変わりなく、高齢者や基礎疾患がある方については重症化しやすいと聞いている。

このように、新型コロナウイルス感染症を含めた感染症については、日頃から対策をとることが重要であり、また、高齢者が多い施設への対策についても気にかかるところである。

そこで伺う。新型コロナウイルス感染症を含めた感染症に対し、県はどのような対策を行っているのか。

保健医療担当部長 新型コロナウイルスの経験を受け、感染症の大きな流行は、未知の感染症だけでなく、病原体ウイルスに変異等が加わることに

よつても、起こることが改めて明らかとなったところです。こうしたことを踏まえ、国においては新興・再興感染症等の流行の可能性などを早期に探知するため、令和7年4月から、いわゆる風邪症状の発症を含む急性呼吸器感染症の発生状況を把握する仕組みを開始したところであり、千葉県においても地域のバンスを考慮し報告を行う医療機関を180か所以上指定するとともに、速やかなデータ集計が可能となるよう、特にオンラインでの届出を要請しているところです。

また、感染症流行時には、高齢者や社会福祉サービスを受けている方への対応も重要となることから、令和6年度から、専門家等の協力を得て、高齢者施設、障害者施設、保育所、教育委員会等の職員を対象とした、個人防護具の着脱方法などの感染症対応に係る研修会を、各地域で実施しており、引き続き、感染症対策の強化に取り組んでまいります。

引き続き、感染症に関する情報の収集

を適切に実施して、新たな新興感染症や再興感染症の発生時やまん延時に速やかに対応できるよう、感染症対策の強化に努めていただくことを要望する。

また、市町村と連携し予防接種の普及啓発に努めるよう要望する。

●県政・市政に関するご相談・ご意見・ご提案などお気軽にご連絡下さい。

川村ひろあき事務所

〒262-0005

TEL 043-250-1021

千葉市花見川区こてはし台3-13-4 FAX 043-250-0071

ホームページもご覧ください… <https://www.kawamura.tv>

川村ひろあきプロフィール

経歴

- 1964年2月21日千葉市生まれ
- 千葉大学教育学部附属小学校卒業
- 千葉大学教育学部附属中学校卒業
- 早稲田実業学校高等部卒業
- 神戸大学経済学部卒業
- 早稲田大学大学院 政治学研究科修了
- 川崎重工業株式会社宇宙開発室勤務
- 外務大臣秘書・代議士秘書
- 千葉市議会議員（5期）
- 千葉市議会議長（第78代）

現職

- 県議会 総合企画企業常任委員会副委員長
- 千葉市レクリエーション協会会長
- 日本善行会千葉県支部長